

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-167324 (P2005-167324A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2003-399697 (P2003-399697)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/725 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 A

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 M 1/00 U

H 0 4 M 1/725

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影手段と、

前記撮影手段により撮影された画像のピントが合っているか否かを判定する判定手段と

、

前記判定手段により画像のピントが合っていると判定された場合に当該画像を送信する送信手段と、

を備えることを特徴とする画像送信装置。

【請求項 2】

前記判定手段により画像のピントが合っていないと判定された場合に、画像のピントが合っていない旨を報知する報知手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像送信装置。

【請求項 3】

前記判定手段により画像のピントが合っていないと判定された場合に、前記撮影手段を直ちに撮影可能な撮影待機状態にするように制御する制御手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像送信装置。

【請求項 4】

前記撮影手段により連続撮影を行わせるように制御する撮影制御手段を更に備え、

前記判定手段は、前記撮影制御手段の制御により前記撮影手段が前記連続撮影を行うと、連続撮影により撮影された複数の画像の中から最もピントが合っている画像を選択する選択手段を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の画像送信装置。

【請求項 5】

前記判定手段により画像のピントが合っていないと判定された場合、前記撮影手段による撮影条件を調整する調整手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の画像送信装置。

【請求項 6】

撮影部と、機器外部へ画像を送信するための送信部とを備えた電子機器における送信制御方法であって、

前記撮影部により撮影された画像のピントが合っているか否かを判定する判定ステップと、

この判定ステップにて画像のピントが合っていると判定された場合に前記送信部より当該画像を送信させる送信ステップと、

からなることを特徴とする送信制御方法。

【請求項 7】

撮影部と、機器外部へ画像を送信するための送信部とを備えたコンピュータを、
前記撮影部により撮影された画像のピントが合っているか否かを判定する判定手段、
この判定手段によって画像のピントが合っていると判定された場合に前記送信部より当該画像を送信させる送信手段、
として機能させることを特徴とする送信制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像送信装置、送信制御方法、および、送信制御プログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、画像送信装置及び送信制御方法に係り、例えば、撮像機能を備えた携帯電話等の通信機器に含まれる画像送信装置、送信制御方法、および、送信制御プログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

そこで、本発明の課題は、撮影手段によって撮影された画像について、ピントが合っているか、手ぶれが起きていないか等のチェックを行い、更に、このチェックによって良好と判断された画像を電子メールに添付等して送信するまでの一連の処理を簡単に行うことができる画像送信装置、送信制御方法、および、送信制御プログラムを提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項４記載の発明は、請求項１～３の何れか一項に記載の画像送信装置において、前記撮影手段により連続撮影を行わせるように制御する撮影制御手段を更に備え、前記判定手段は、前記撮影制御手段の制御により前記撮影手段が前記連続撮影を行うと、連続撮影により撮影された複数の画像の中から最もピントが合っている画像を選択する選択手段を含むことを特徴としている。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

請求項６に記載の発明は、
撮影部と、機器外部へ画像を送信するための送信部とを備えた電子機器における送信制御方法であって、
前記撮影部により撮影された画像のピントが合っているか否かを判定する判定ステップと、

この判定ステップにて画像のピントが合っていると判定された場合に前記送信部より当該画像を送信させる送信ステップと、
からなることを特徴としている。

請求項７に記載の発明の送信制御プログラムは、
撮影部と、機器外部へ画像を送信するための送信部とを備えたコンピュータを、
前記撮影部により撮影された画像のピントが合っているか否かを判定する判定手段、
この判定手段によって画像のピントが合っていると判定された場合に前記送信部より当該画像を送信させる送信手段、
として機能させることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明によれば、ユーザは撮影した画像のピントが合っているか否かの確認をしなくてもピントの合った画像のみを送信することが可能であり、煩雑な作業なしに簡単、手軽に撮影した画像を送信することができる。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】